

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 安倍政権は県民の民意に従え！ 県民投票から1年 計画破綻の新基地は断念せよ



昨年の辺野古の埋め立てを巡る県民投票で「反対」の民意が示されて1年が経過した2月25日、キャンプ・シュワブゲート前には県内外から50人ほどが座り込みました。へり基地反対協会の安次富浩共同代表などが「沖縄県民は県民投票をはじめ選挙で何度も反対の民意を突き付けても、安倍政権は理不尽にも基地建設を強行している。しかし、活断層や軟弱地盤問題などで計画は破たんしている。直ちに断念すべきだ」と訴えました。

ある県民がマイクを握り「家でテレビだけ見ているとワジワジするだけだが、現場に来て安倍政権とたたかうことで元気なる」と発言、参加者の共感を広げていました。

関西の某大学から10人で参加したある学生は「春休みを利用して来ました。機動隊と民間警備の民意無視の横暴と無駄遣いは許せない」と怒りの声を上げていました。

県民は権力と闘うことで元気になる

### 全国会議準備で辺野古現場を視察 自由法曹団が5月に沖縄で全国交流会

自由法曹団が例年開催している全国交流会が今年5月下旬に沖縄で開催されます。これに先立ち自由法曹団の平松真二郎事務局長らが事前視察で沖縄を訪問、20日に辺野古漁港から抗議船に乗り新基地建設現場を視察しました。同事務局長は「5月には全国から350人の弁護士が集まります。新基地建設のたたかひの現場を見てもらい全国で連帯を広げたい」と話していました。沖縄県の仲山忠克弁護士が同行しました。



平和丸に乗船した平松氏（後列の右端）ら自由法曹団の事前視察団

**新基地阻止へ 決意新た**  
デニー知事のコメント（要旨）  
政府は県民投票結果を一顧だにせず工事を強行している。民主主義が問われる。工事の長期化や予算の肥大化で普天間の危険性除去につながらないことは明らか。新基地は造らせない決意を新たにし、県民の民意に応え全身全霊で取り組む。



↑市民を強制的に排除する機動隊にパネルを掲げて抗議する学生ら。右端は一人芝居の右田隆さん（25日午前9時過ぎ）

### 3月4日のさんしん(三線)の日は中止です

当ニュース前号でお知らせした恒例の「ゲート前さんしんの日」は、コロナウイルスの関係で中止となりました。第1土曜の県民大行動（3月7日）は「検討中」です。

## 名護共同センターへの募金のお願い

### 「辺野古」のたたかい発信、現場と全国の架け橋の役割

新基地建設反対名護共同センターは2015年3月26日に開設され、間もなく5周年を迎えます。センターではこの間、現場のたたかひの情報発信やガバ活動、たたかひの歴史や展望などの講演活動などを行い、現場と全国の架け橋の役割を担って全国から歓迎されてきました。共同センターの財政はDVDの販売と支援者からの募金中心で運営していますが、現在厳しい状況に陥っています。スタッフが辺野古の現場に通う中古の軽自動車が廃車目前に陥っており、ニュースの印刷機が故障続きでも修理費用を捻出できない状況に直面しています。このため、共同センターを支えるための募金を訴えます。ご協力をよろしくお願いいたします。

新基地建設反対名護共同センター 共同代表・具志堅 徹

### —募金の振込先—

郵便振込口座・記号番号 01710-0-166221  
加入者名・新基地建設反対名護共同センター

## 県後援会がセンターで学習

日本共産党県後援会の第5回辺野古バスツアーが21日行われ、7人が参加。辺野古ゲート前での座り込みの後、名護共同センターで辺野古のたたかひの歴史や現状、展望についてレクチャーを受けました。

南城市から参加者した小池さん夫妻は、「この話を県内外の多くのみなさんに聞かせたいものですね」と話していました。

